

アイエヌジーリースフランス様導入事例

～契約書イメージ管理システムでコンプライアンス対応～

コンプライアンス、事業継続計画を向上させるソリューション

お客様の紹介: 1986年設立。アイエヌジーリースフランスはフランス全体で8ヶ所の拠点をもち、8億5千万ユーロの事業ポートフォリオを管理しています。アイエヌジーリースフランスは、ヨーロッパの13カ国でリース全般(機材および不動産賃貸)を行っているアイエヌジーリースの全額出資子会社です。

業務要件と課題

- ・ パリ市内の高価なオフィスビル内に紙文書を保管するため費用効果が少ない。
- ・ 10年から50年におよぶ厳しい文書保有規定などの様々な法的、財務および経理関連の規制に適合する必要がある。
- ・ 簡単に文書を検索する必要がある。
- ・ 確実に信頼のおける事業継続計画を支援する必要がある。

導入効果

- ・ 様々な厳しい文書保有とコンプライアンス規制を遵守。
- ・ 業務プロセスが事業継続計画に一致。
- ・ 自動化した夜間の文書インポートで、文書により早くアクセスでき、手動のデータ入力が減少。
- ・ オフィス内にファイルを保管する必要性を排除してオフィススペースを節約。
- ・ 一年未満で過去分のデータ移行を完了し、業務継続を徹底。

概要: アイエヌジーリースフランスは、エンタープライズコンテンツ管理ソリューションを導入することにより、オフィス内の高額な保管スペースを縮小して著しく経費を削減し、コンプライアンスと事業継続推進への対応を可能にしました。アイエヌジーリースフランスのユーザーは、紙文書を見ながら、必要なインデックス情報をEフォームに入力し、バーコードを生成します。このバーコードは入力したEフォームにも組み込まれます。OnBase認定ソリューションプロバイダーであるリコールフランスは、紙文書をスキャンし、バーコード情報に基づいて、現物の紙文書を規定に沿った期間保有するか、または廃棄するかを分類します。スキャンされたイメージは、セキュリティが確保されたFTP経由でアイエヌジーリースフランスに送り返され、OnBaseワークフローが、スキャンされた文書とEフォームを一致させ自動的にインデックスを行います。同一キーワード情報を持つイメージ文書を自動で紐付けし、ユーザーは簡単なボタンクリックで関連文書を検索します。ユーザーは、アイエヌジーリースフランスのEKIPファイナンスソフトウェアパッケージで作業をしながらフォルダビューにアクセスします。アプリケーションイネーブラ™を使い、OnBaseのポイントアンドクリック設定で連携し、EKIP内で作業するユーザーがボタンをクリックするだけで、OnBaseはタブのついたフォルダビューを開きます。

